

たんぽぽ

第98号
平成22年1月発行

兵庫県養父市堀畑82番地の28
森 医 院
TEL 079-665-0223 FAX 079-665-0635
http://www2.ocn.ne.jp/~moriin/
e-mail mori-clinic@fureai-net.tv



あけまして
おめでとうございます



『森医院開院25周年を迎えて』

21世紀になり早10年。昨年はオバマ米大統領が選出され日本も自民党政権が崩壊して潮目が変わる予感はあるが経済の長期停滞が続く中、予断は許されない。

今年で開院25周年を迎えるが、森医院では昨年1年間で数年分の出来事が一気に押し寄せたような激動の1年であった。8月の大雨で円山川が氾濫し、医院・住宅は無事であったが道路を挟んだ社員寮の一階が水没し、車庫に駐車していた乗用車が2台全損。同時に書類保管庫の重要書類なども泥水に浸かり、連日片付けに追われた。つづいてはあの新型インフルエンザ・パンデミックである。皆さん方のご家族は大丈夫でしたか？

幸い私を含め職員・家族に感染者はなくほっとしている。ワクチンの集団接種も始まり、年末には終息に向かったが年明けから高齢者への感染拡大が心配される。

開院以来、森医院の発展に大きな力を発揮してきた職員二人が入院したことも大事件であった。幸い早期に発見手術ができ心配はないが一人は開胸術 もう一人は開腹術を受けたためしっかり養生していただきたい。年が明け、もう何ともなかったかのように元気に職場復帰している彼女たちの元気な姿が頼もしい。

昨年秋、山梨の病院勤務医時代を一緒に過ごした同期のT先生が病院理事長を辞職し闘病されていると聞き、驚いて入院先の甲府の緩和病棟を見舞った。常に新しいことに挑戦してこられた有能なドクターである。医師としてこころざし半ばで病に伏したことの無念さが病床からひしひしと伝わってくる。年末に休みが取れたらもう一度と想っていたのだが年の瀬が迫ったある日、残念であるが

私のもとに訃報が届いた。

住宅リフォームのため引っ越し整理をしていて見つけた開院1年前の昭和59年9月作成「森医院新築設計図」を懐かしく眺めながら26年間を振り返る。採用時はまだ24歳の娘さんであった津崎さん西垣さん。両名とも今年のご息が成人式を迎える。「おめでとう」とお祝い申し上げたい。美人で評判の大森さんにはかわいい孫も生まれ、若いおばあちゃんだ。

私の長女もすでに3人の母親であり、長男も医師として6年目。そろそろ独り立ちしてくれるであろう。こうして患者さんと職員に育てていただいた森医院である。これからも大切に開院からの目標であった「地域の健康を守る砦」であることを目指して、あともう少しこの仕事を続けようとして新年に決意する。

さて私の住み家も築後25年が経ちあちこちが傷んできた。本格的な修理も必要となったため念願の住宅リフォームを昨年8月から敢行した。バリバリと内壁・床・天井材を剥がすと次々明らかになってくる我が家の手抜き工事。最新レーザー機器で測定してもらうと床の傾斜だけでも最大3cm高低差が見つかる。シロアリで抜け殻のようになった柱を目の前にして、こんなはおではなかったと思ったがもう後には引けない。外壁を残してもうほとんど建て替えて工事が進んだ。予定より遅れ4ヵ月間に及ぶ仮住まいを余儀なくされたが、大工さんたちの尽力で昨年12月末にようやく入居が叶った。お蔭でお正月を我が家で家族と一緒に祝うことが出来てとてもうれしい。

昨年秋に木村さん、新春に福井さんと職員におめでとうということが続き喜んでいる。あたたかい家庭を築いてくれることを祈って見守っていたきたい。よろしくお願い申し上げます。院長

テレホンサービス 《2月のテーマ》

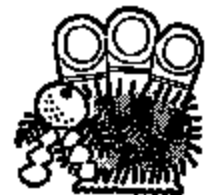
電話料無料 0120-979-451

月曜日	喘息と吸入ステロイド薬	月曜日	生理痛について
火曜日	要介護認定方法の基準変更とは	火曜日	歯磨き粉の効果と成分について
水曜日	痔の予防～おしりにやさしい日常生活	水曜日	げっぷから考えられる病気
木曜日	鼻血について	木曜日	尿が近い
金曜日	ガン検診のすすめ	金曜日	サプリメントの利用法

《1月のテーマ》(携帯電話からはご利用いただけません)

祝祭日は前日の放送が流れます

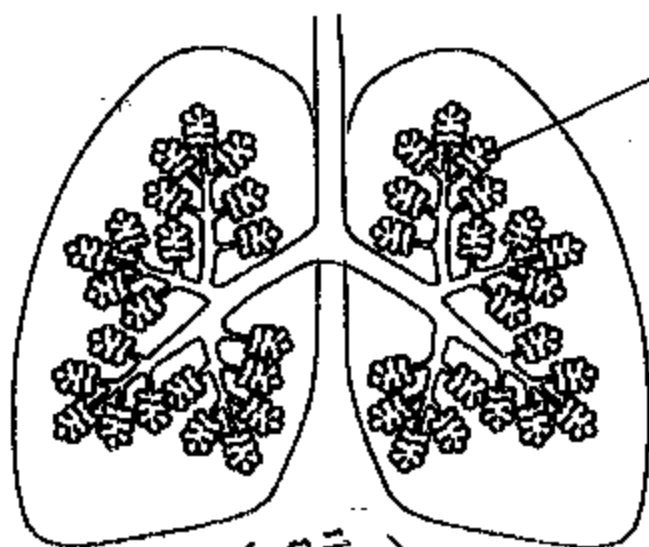
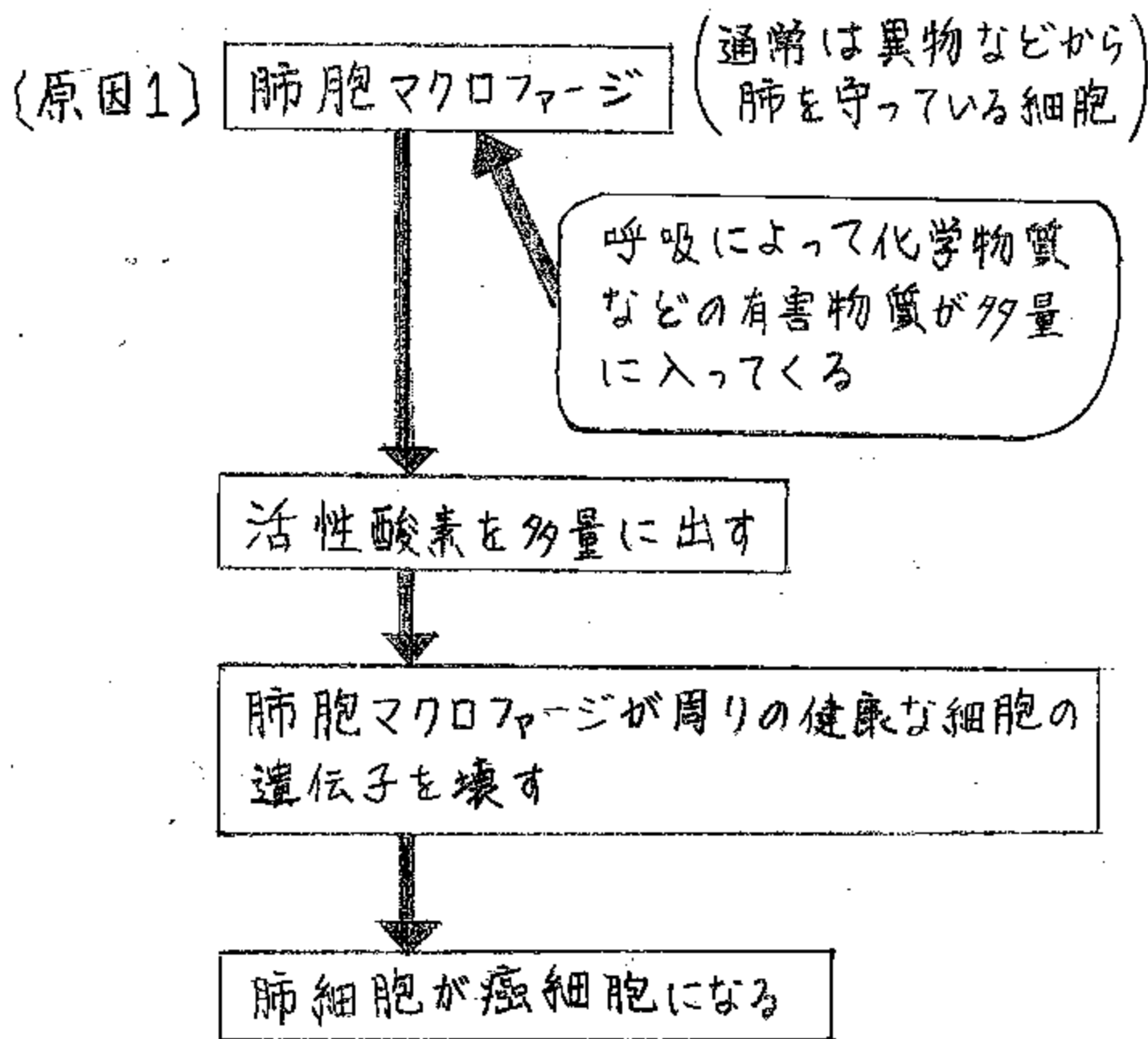
http://www.hhk.jp/(過去の放送分も掲載しています)



喫煙しない女性の肺癌



肺癌は喫煙者になる病気だと思われがちですが、女性の場合肺癌患者の8割が非喫煙者です。最近 喫煙しない女性の肺癌の原因が解明されてきたので、今回のたんぽぽで紹介します。



<肺>

肺胞

酸素を体内に取り込み二酸化炭素を体外に出す働きをします。肺胞マクロファージは、肺胞内に存在しています。

(原因2) 女性ホルモンによって肺癌になるリスクが高まる。肺の細胞に女性ホルモンがくっつく『受容体』を持っている人がいます。

肺細胞の遺伝子が傷ついた時、女性ホルモンは『受容体』にくっつき、癌化を促します。

肺癌の初期症状は、咳・痰・胸部痛・肩こり・声がかいなど、風邪や疲れた時・体調の悪い時の症状に似ており、特有なものがないため肺癌とは気づきにくいものです。

そしてこのタイプの肺癌は気道末端の肺胞でできることが多くX線検査では見つかりにくいといわれています。

X線検査では見つかりにくい肺癌を、早期に発見できるのはCT検査です。

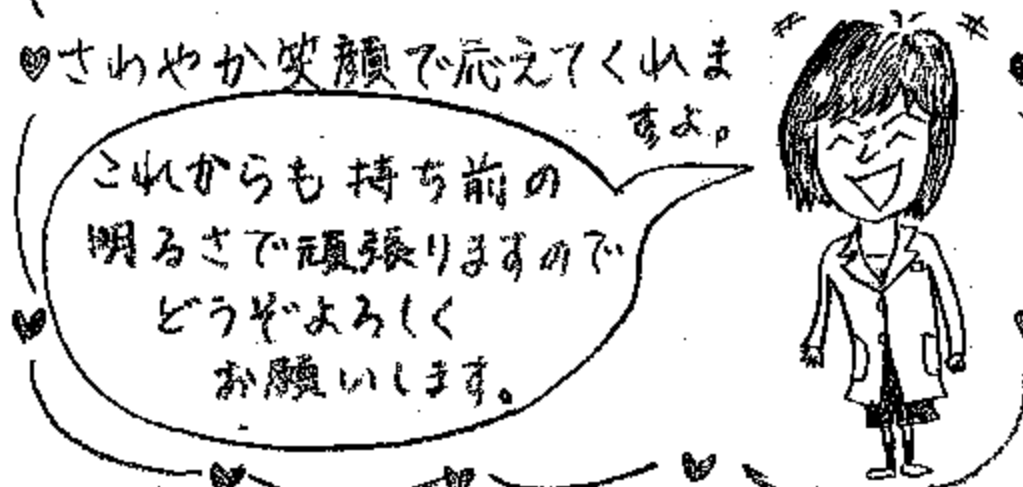
本院でも咳の症状から胸部X線を撮り、連携病院でCT検査を受け、早期の肺癌が見つかった方がおられます。その方はすぐに胸腔鏡下肺葉切除術という、リスクの少ない手術を受け、完治しました。

早期発見、早期治療をするために、年1~2回の胸部X線検査と、CT検査を受けらることをおすすめします。



職員紹介

昨年秋、木村かおりさんが結婚され、『寺川かおり』さんになりました。御主人のお弁当をせっせと作る幸せな毎日です。「寺川さん」と声をかけてあげて下さい。頬をほっと赤くして「エッ…私??…ハイ!!」と



お知らせ

1月末にリハビリ室のウォーターバット型マッサージ器、「アクアタイザー」が新しく入ります。お楽しみに!! 詳しくは次回たんぽぽにて紹介予定です。



編集後記

新しい年を迎えました。明るい話題の多い1年になるとよいですね。今年も職員一同、い新たに頑張りますのでよろしくお願ひいたします。次回たんぽぽ発行は4月です。